

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 2 月 6 日

上場会社名 大日本印刷株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 7912

本社所在都道府県

(URL http://www.dnp.co.jp)

東京都

代表者役職名 代表取締役社長 氏名 北島 義俊

問合せ先責任者役職名 専務取締役 氏名 山田 雅義

TEL (03) 5225 - 8080

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度： 無
 における認識の方法との相違の有無

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

(1) 売上高

	百万円	%
16 年 3 月期 第 3 四半期	1,012,225	3.3
15 年 3 月期 第 3 四半期	979,951	-
(参考) 15 年 3 月期	1,309,002	

(注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2. パーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

[売上高に関する補足説明]

平成 16 年 3 月期、当第 3 四半期までの連結売上高は、1 兆 1 2 2 億円（前年同期比 3.3% 増）となりました。

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

【印刷事業】

・情報コミュニケーション部門

書籍・定期刊行物関連は、長引く出版不況の影響により、週刊誌・月刊誌などの定期刊行物と書籍が、ともに減少しました。

商業印刷物関連では、プレミアムは前年を下回りましたが、主力のカatalog、チラシなどが増加しました。

ビジネスフォーム関連は、帳票類は減少しましたが、ICカードやパーソナルメールなどのIPSが大幅に増加しました。

・生活・産業部門

包装関連は、紙器・紙カップは減少しましたが、ペットボトルの第一次成型品プリフォームが引き続き好調に推移し、軟包装品も前年を上回りました。

建材関連は、環境・健康に配慮した新製品が増加し、国内分野は堅調に推移しましたが、輸出製品は低調でした。

産業資材関連は、カラープリンター用インクリボンが増加し、各種光学フィルムやリチウムイオン二次電池用電極材なども好調に推移しました。

・エレクトロニクス部門

エレクトロニクス関連は、シャドウマスクはパソコンモニター向けの需要が低迷しましたが、テレビ用は増加しました。フォトマスクは海外向けが伸び悩みました。一方、液晶カラーフィルターは、パソコンモニター向けやテレビ用等の旺盛な需要に支えられて、引き続き大幅に増加し、プロジェクションスクリーンも堅調に推移しました。

【 清涼飲料事業 】

・清涼飲料部門

清涼飲料業界全体の需要が伸び悩む状況の中で、販売促進競争や価格競争がますます厳しさを増し、小型ペットボトル飲料の需要に対応したボトル缶および 280ml ペットボトル製品や新製品を投入して、需要の拡大に努めましたが、販売数量は伸び悩みました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は発生しておりません。

3 . 平成 16 年 3 月期の連結業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

業績予想の見直しは行っておりません。

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	1,335,000	91,500	43,000

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 58 円 24 銭

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上